

会議録

会議の名称	平成30年度第1回加東市まちづくり推進市民会議
開催日時	平成30年10月30日（火）午前9時00分～午前11時00分
開催場所	社公民館 2階 研修室
議長の氏名	（座長 梅野巨利）
出席及び欠席委員の氏名	<p><出席委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・古田 照代 ・三木 秀文 ・山本 洋介 ・梅野 巨利 ・遠藤 久男 ・小島 加津子 ・井上 綾乃 ・植田 真由子 ・宇都 宮卓 ・笠井 郁男 ・黒崎 和子 ・田尻 信生 ・平川 米一 ・村上加奈子 ・山口 敬晶 ・山本 直樹 <p><欠席委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・須田 康之
出席した市の職員の氏名及びその職名	<p><事務局等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長 安田 正義 ・まちづくり政策部長 柳 博之 ・まちづくり政策部企画政策課長 小林 勝成 ・まちづくり政策部企画政策課副課長 下岡 正裕 ・まちづくり政策部企画政策課係長 小林 寿泰 ・まちづくり政策部企画政策課主事 横山 寛之 <p><事務局以外></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務財政部長 堀内千穂 ・市民協働部長 芹生泰博 ・健康福祉部長 丸山芳泰 ・産業振興部長 藤川憲二 ・都市整備部長 藤井康平 ・上下水道部長 大畑敏之 ・教育振興部長 西角啓吾 ・子ども未来部長 広西英二 ・病院事業部事務局長 大橋武夫 ほか18名
1 議題等	<p>(1) 座長及び副座長の選出</p> <p>(2) 報告・協議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ①加東市まちづくり推進市民会議について ②加東市行財政改革推進計画の取組結果《最終報告》について <p>2 会議資料</p> <p>加東市行財政改革推進計画の取組結果《最終報告》、加東市行財政改革推進計画等（資料No.1～資料No.5）</p> <p>3 会議の経過</p> <p>⇒別紙「第1回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過」のとおり</p>
平成30年12月14日	<p style="text-align: right;">座長 梅野巨利</p> <hr/> <p style="text-align: right;">副座長 三木秀文</p> <hr/>

(別紙) 第1回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
議長 委員 課長	<p>1 開会 2 市長挨拶 3 委員等紹介 4 座長及び副座長の選出 5 報告・協議事項等</p> <p>(1) 加東市まちづくり推進市民会議について (2) 加東市行財政改革推進計画の取組結果《最終報告》について ※全36の取組項目のうち、評価B及び評価Cの項目(18項目)について、担当部局より説明した。その後に質疑応答に移行した。(評価Aの項目は、評価B及び評価Cの項目の協議が完了した後に、まとめて質疑対応とした。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目1 事務事業の見直しについて意見はないか。 ・マイナンバーカードのコンビニ交付サービスの利用率と、マイナンバーカード自体のPR及び推進状況について伺います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、マイナンバーカードの取得率は市内人口の約17%で、およそ6,800、7,000の方が取得している。国に倣いPRに努めているが、その必要性からなかなか取得が伸びない状況である。広報、窓口、ケーブルテレビでの周知のほか、イオンや高齢者大学へ出向いてのPRを実施している。コンビニの交付については、初年度である昨年度は交付率が伸びず、最終的には全体の2.17%であった。マイナンバーカードと同様に窓口やイオンでPRをしているが、全ての市町村が実施しているものではなく、自治体毎に普及活動を行っているため中々難しい。平成30年9月末時点で約3.5%の交付の状況である。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・理解した。便利であるためもう少しPRをお願いしたい。評価はBのままでいいと判断する。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほか、項目1 について意見はないか。
議長	<p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・項目2 公共施設の適正化について意見はないか。
議長	<p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・項目4 借地の適正化についてはいかがか。
議長	<p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・項目5 公用車台数の適正化についてはいかがか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・日産自動車大きいバンのエコカーを格安で貸し出すというイベントをしており、市役所がそれを断ったと聞いた。必要でなかったのか、何か理由があったのかを聞きたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・日産自動車からそのような話をいただいたという事実は確認できていない。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・理解した。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほか、項目5 について意見はないか。
議長	<p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・では、項目5における評価は妥当とする。
議長	<p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・項目8 公立幼稚園のあり方の検討についていかがか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新設認定こども園への移行にあたり、実際に社幼稚園に子供を通わせている人の意見を聞くと、子供を幼稚園に預ける親への情報提供が少な過ぎたと感じており、取組評価Cだと考える。
課長	<p>3歳児の受け入れを増やしたため、社幼稚園の定員充足率は一時的に改善しているが、新設こども園への移行があるため、預ける側からすればすぐまた幼稚園を変わらないといけないという気持ちから、納得されていない保護者が多い。今後このような状況の変化に関しては、子ども・子育て世代へもう少し早目に情報を与えていただきたい。</p>
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ多くの子どもをお預かりできる方法を検討する中で、新設認定こども園を開園することとしている。保護者への情報提供が遅くなったこと、情報が不十

委員	分であったことについては深くお詫び申し上げます。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受ける側からすると教育と保育は別だという思いがある。新設こども園の今後の進め方について、その辺を課題として進めていただきたい。 ・ 今の議論の内容はあり方の検討であり、計画に関してはある程度充足されている。ただし、情報提供に関しては不足の部分があり、計画ではなく実施の上で問題があったと思われる。評価についてはBで間違いではないという印象を持っているがいかがか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理解した。 ・ 今後の課題として、情報提供など今あった意見を参考に取り組みられるということで、評価はBでよろしいか。
議長	〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ では、評価Bとする。 ・ 項目9 図書館利用の促進についていかがか。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館は子供と一緒によく利用し、様々な企画をしているのは知っている。しかし、図書館の定休日が月曜日であり、学校行事の振替休日もいつも月曜日であることから利用できない。子供たちと一緒に過ごす場所が加東市の中では中々無く、周辺地域の公共施設へ行くなどしている。もし定休日が月曜日でなければもう少し利用が増え、小学生や中学生にも身近な場所になると思うがいかがか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休館日について、加東市内には図書館が4館あり、そのうち中央図書館と滝野図書館が月曜日、図書情報センターと東条図書館が水曜日であり、年末年始以外はどこかの図書館が開いている状況である。ただし、同一の図書館のみ利用される方については、固定の曜日が休館日となることも把握している。公共施設の適正化により平成31年度には館の数が減るため、休館日もあわせて考えていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 滝野地区の人は西脇市に行ったほうが近いということもある。利用率を上げるためにも変更願いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の周辺がさみしくなっているようにも感じる。西脇市の複合の図書館がすごく魅力があり、口コミで人が集まっている。是非、既存の建物を使って周りの商店とも協力して利用しやすいようにしていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4館の図書館にそれぞれ司書は何人配置されているのか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の数は、中央図書館は人員9人のうち6人、図書情報センターが人員3人のうち3人、滝野図書館も人員6人のうち6人、東条図書館も人員3人のうち3人が司書である。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の利用促進についてはこれでよろしいか。
議長	〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 項目11 電子決裁導入の検討における評価及び取組に関していかがか。 ・ 計画を見ると、ドキュワークスというソフトの研修会の回数が目標活動指数となっているが、最終的なところとしては事務の効率化、そして延べ就業時間の減少につながってくるかと思う。具体的な効果を計画に盛り込むことは可能なのか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ このドキュワークスというソフトはワードやエクセルなどを一つの文書として取扱い且つデータ管理ができるもので、人件費や費用面で効果がある。具体的な効果の指標は管理ができていない状況であるが、時間外勤務の削減については効率化を図るために研修などを行い、業務の改善につなげていきたい。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外勤務の削減や人件費の削減などの指標について、今回の計画では項目22に「時間外勤務手当の削減」を分けて設定している。今後については総合計画にて類似の施策を進めており、時間外の削減などに結び付けていく。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同項目について他はいかがか。
議長	〔「なし」と呼ぶ者あり〕
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ この評価、この取組で問題なしということでよいか。
議長	〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
議長	〔項目13、14、15、17、19 については異議なし〕
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 項目21 定員管理の適正化についていかがか。 ・ 今後の取組のところに「北播磨管内の高等学校や近畿圏内の大学等広く募集を周知し、加東市への受験へとつながるようにPRする」とあるが、兵庫教育大学での
委員	

課長	PRはどのようなものか。
委員	・北播磨管内の高等学校や近畿圏内の大学へ、募集要項やポスターなどの配布を行っている。大学によっては合同説明会も開催しており、そのような説明会へのエントリーも去年から開始している。兵庫教育大学でも同じような機会があれば参加したい。
議長	・教育大学は教員養成が一つの使命だとは思いますが、学部生などと話してみると、公務員希望の学生も多い。加東市側のニーズもあるとは思いますが、積極的にアプローチをしてもらえれば兵庫教育大学としても動くのではと思う。
議長	・ほか、定員管理の適正化について何かあるか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
議長	・では評価、取組とも問題なしとする。 〔項目22、23、25、29 について異議なし〕
議長	・項目35 公共交通の充実についていかがか。
委員	・公共交通について市民アンケートを実施したとお伺いしたが、対象者の選定方法について、対象人数を含めてお尋ねしたい。
課長	・無作為に4,000人を対象とした総合計画のアンケートの中の項目として公共交通の充実に関する項目を設けたものである。加えて、公共交通のバスの停留所、滝野社インターの停留所の高速バス利用者の方々へヒアリング調査を実施し、計画書にその結果を載せている。
議長	・ほか、項目35 についていかがか。この取組評価でよろしいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
議長	・以上、評価B、Cの項目について検討いただいた。全体として、評価Aの項目も含めて意見はないか。
委員	・途中で計画を作成してそれに従って物事を遂行していくというような項目が多々ある。27年度に計画をつくったのであれば、28年度、29年度に具体的な指標となって出てくるものだと思うが、何となく漠然とした報告になっているため、進捗管理もちゃんとされていないという気がしてしまう。指標が明確になっている項目についても、その指標自体がその項目の目標値、あるいは最終の着地点と必ずしも結びついていないように感じるので改善をお願いします。
課長	・市としても現在新しい行政評価システムを構築途中である。指標については内部で議論しており、今後はそれらを踏まえた形で資料をお出ししたい。
議長	・ほかはないか。
委員	・こども園への移行のところで、社幼稚園と社保育園が一緒になるということだったと思うが、項目8 公立幼稚園のあり方の検討については評価Bで、項目7 公立保育園のあり方の検討は評価Aとなっている。社保育園が認定こども園になる過程において問題があったということであれば、項目7についても評価Aは変えた方がいいのでは。
課長	・社保育園については、既に平成28年度にこども園に移行し教育利用の子どもを預かっており、教育・保育を一体的に提供している。今現在こども園の教育費用も私立含め増えている状況であるため、保護者のニーズには合致していると考えており、公立保育園のあり方という部分については取組の目標値を達成していたので評価Aとしている。
委員	・項目6 低公害車の積極的な導入について、加東市内にある会社がしている取組を調べられてなかったということになると思うが、評価Aでいいのか。
課長	・市としてもそのような情報を積極的に入手し、活用できそうな制度があれば積極的に活用できるよう努めていく。低公害車の積極的な導入の部分については、公用車適正更新計画という計画に基づき随時更新をしているが、低公害車の水準は高く、ハイブリッド車やEV車の購入は中々進んでいない状況である。
議長	・いかがか。今後の課題としてもらうことでよいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
議長	・では項目6 低公害車の積極的な導入については問題なしとする。
議長	・項目7 公立保育園のあり方に話を戻すがいかがか。
委員	・社保育園は28年度に幼稚園と一体化され、それに対して保護者の方も十分満足さ

課長	<p>れたということであったが、実際は150人ぐらいの定員に対して幼稚園のスタイルをとった保護者は一桁の人数だと現場で聞いている。1キロ程の圏内にある社幼稚園と社保育園のなぜ両方に幼稚園・保育園を入れたのかというのが正直な意見である。何でも「幼・保一体」と言葉で集約してしまうところを今後新設の認定こども園では十分考えていただき、保育と教育は別ということでの新たな体制をしっかり考えてもらえれば、評価はこのままでも問題はないかと思う。</p>
議長	<p>・幼・保一体としてきた理由としては、種別を集約することで不足している保育教諭を効率的に配置し、より多くの子どもを預かることが可能になることが一つの理由である。27年度段階で、幼稚園に関しては定員に満たない、保育に関しては需要が増え続けているという状況を踏まえた上での市の取組であるため、ご理解いただきたい。</p>
議長	<p>・では項目7 についての評価Aは、このままでよろしいか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
議長	<p>・ただ、課題も多くあるということを含み、今後の取組に活かしていただきたい。以上で全項目に関して今回の取組結果についての評価を終了する。</p>
課長	<p>・追加でお伝えしたい。先ほど、項目35 公共交通の充実におけるアンケートについてお答えしたが、それとは別に、4,000人の16歳以上の方を対象に無作為で公共交通に特化したアンケートを実施した。以上である。</p> <p>6 その他 7 閉会</p>